

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業				事業コード	430362					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践			施策コード	413					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室			所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	102	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-			R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	福知山市子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルスの感染が増加傾向にある中、保育園・幼稚園・学校等での集団生活を通じた感染症拡大防止のため、感染症予防に必要な衛生用品等の購入に使えるクーポン券「子どもふくふくクーポン」を市独自で発行し、感染症予防に対する支援を行うとともに、子どもたちが心身ともに健康で、安全な生活を送ることのできる環境を整備する。										
対象者	18歳以下の子ども及び福知山公立大学の学生				対象者数	13,700		単位あたりコスト	3.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山市社会福祉協議会、ケーケーシー情報システム										
事業概要 (箇条書き)	(1) 支援内容 市内の店舗等で感染症予防に必要な衛生用品等の購入に使用できるクーポン券を配布 (2) 支援金額 1人あたり3,000円(500円×6枚) (3) 対象者 ア 令和4年3月31日時点で18歳以下の子が属する世帯の世帯主 ※18歳以下の子については、令和3年10月1日時点で福知山市に住民登録があること イ 福知山公立大学に在籍している学生 ※令和3年10月1日現在で福知山公立大学に在籍していること (4) 対象商品 感染症予防のための衛生用品(マスク、消毒液、うがい薬、石けん等)、その他感染症予防に必要なもの										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	役務費	4,231			郵送料						
	委託料	7,537			業務委託費						
	負担金補助及び交付金	41,100			クーポン券利用分負担金						

III 予算執行状況

区分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0			
	② 補正予算	0		61,146		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		0		61,146		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		61,146		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	0		61,146							
	③ 執行額	0		52,868							
	④ 執行率	0.0%		86.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00		0.00 / 0.00		0.00 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0		0		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		52,868		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	換金率	%	/	/	97 / 100	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、必要な事業である。 ・発行枚数 79,176枚 ・換金率 96.9%	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	効率的にクーポン券の配布や換金ができている。性質上コスト削減や効率化は難しい。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	クーポン券を円滑に配布できたが、真に目的を達成しているか図ることが困難である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルスの感染が増加傾向にある中、保育園・幼稚園・学校等での集団生活を通じた感染症拡大防止のため、感染症予防に必要な衛生用品等の購入に使えるクーポン券「子どもふくふくクーポン券」を発行し、感染症予防に対する支援を行うことが出来た。		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度で終了

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	学校芸術祭事業					事業コード	620102				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課				所属長	八瀬 正雄				
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市内小中学校児童生徒が芸術作品の作成や研究に取組み、その作品や研究成果を一堂に集めた展示会を開催する。展示会等では、日ごろの芸術活動や学習、研究の成果を発表し、また、鑑賞することで交流と研鑽をさらに深め、豊かな感性や人間性を育む機会とする。										
対象者	市内小中学校児童生徒教職員及び保護者				対象者数	13,000		単位あたりコスト	0.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は「小学校音楽祭」を中止とした。 学校(園)美術展、下村脩グランプリについては、感染症対策等に留意しながら、10月16日～18日に開催した。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	88	審査員謝礼、受賞者用メダル・盾								
	需用費	288	消耗品、印刷製本費								
	役務費	5	賞状名入れ手数料								
	使用料及び賃借料	266	厚生会館使用料、看板料、複合機賃借料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,787	1,733	1,711	1,697				
	② 補正予算	△ 1,787	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	1,733	1,711	1,697					
予算財源内訳	① 一般財源	0	867	1,711	1,697				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	866	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 45						
	② 配当予算	0	1,688						
	③ 執行額	0	647						
	④ 執行率	0.0%	38.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.21 / 0.00	0.24 / 0.00	0.24 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,680	1,920	1,920	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,680	2,567	1,920	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	音楽祭参加者数	人	810 / 800	0 / 800	0 / 800	0 / 800	800
下村脩グランプリ応募作品数	点	2926 / 2500	0 / 2500	2071 / 2500	2500	2500	2500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	音楽祭開催回数	回	1 / 1	0 / 1	0 / 1	1	1
	単位あたりコスト		1878.7		0.0		
	美術展開催回数	回	1 / 1	0 / 1	1 / 1	1	1
単位あたりコスト		1878.7		647.0			

学校芸術祭事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	学校(園)美術展は、市内の児童・生徒の作品を一堂に展示し、児童・生徒の学習成果を広く周知する貴重な機会であることから、保護者や市民の期待も高く、R3年度は開催期間中に4,209人の来場者があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	展示等の会場準備には教職員を動員して準備にあたり、開催中の運営についても教職員が交代でたることによって経費削減を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	音楽祭については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止としたが、美術展と下村脩グランプリについては、感染対策を行い、表彰式を取りやめるなどして密を避ける工夫を行う中で実施し、日頃の学習や研究の成果を披露する機会を提供できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	児童生徒の作品・研究成果を一堂に展示することは、児童生徒の日頃の成果を発信する貴重な場となる同時に、展示作品の鑑賞により、児童生徒が切磋琢磨することにつながっている。また、他校の児童生徒の作品、発表を通して教員の指導力向上につながり、相互研修としても有効であり、教育効果の高い事業である。 【定性的評価】 本事業の意義、教育効果が高いことから、継続して実施していく予定であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえた内容の見直しが今後の課題である。		
改善策	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため美術展での表彰式を取りやめて各校での表彰実施としたが、令和4年度は、各学年の最高賞のみを表彰することで効率的な式典を実施することとし、音楽祭については、合唱による「発声」の機会を減らし音楽鑑賞の機会とするなどの工夫を行いながら、実施準備を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年度の美術展は、各学年の最高賞のみの表彰とし効率的な式典を実施し、また、音楽祭は、従来の児童の合唱や演奏の発表でなく、音楽鑑賞の機会とした。 音楽祭は、児童の音楽科の学習成果の貴重な発表・交流の場であることから必要な経費を継続して確保する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	教職員資質向上事業					事業コード	620110				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課				所属長	八瀬 正雄				
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	府教職員研修計画 学校教育の重点(府・市)			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	教育基本法 学校教育法 地方公務員法 福知山市教育研究グループ補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	児童生徒の学力向上や豊かな人間性を育む教育を実践するため、教職員の研修機会や研究に要する費用負担を行うことで、教職員の資質向上を図る。										
対象者	市立小中学校児童生徒及び教職員				対象者数	6,556		単位あたりコスト	1.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	教職員の資質向上のため、教科別研修・人権教育研修等の派遣研修や教育講演会等を実施した。 ・視察研修(人権研修フィールドワーク)については、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。 ・教育論文「けやき賞」の募集を行い、6人の応募があった。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	旅費	40		研修旅費							
	需用費	87		消耗品							
	役員費	6		福祉バス利用キャンセル料							
	負担金補助及び交付金	339		福知山市教育研究グループ補助金、研究集会参加負担金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,492	1,350	1,324	1,273	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	1,492	1,350	1,324	1,273		
予算財源内訳	① 一般財源	1,492	1,350	1,324	1,273	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	1,492	1,350			
	③ 執行額	637	472			
	④ 執行率	42.7%	35.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.55 / 1.85	0.50 / 1.80	0.50 / 1.80	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	9,025	8,500	8,500	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,662	8,972	8,500	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	けやき賞応募	人	5 / 5	5 / 5	6 / 5	/ 6	6
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	人権研修フィールドワーク参加者	人	18 / 20	15 / 20	中止 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		43.8	42.5			
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	教職員資質向上事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	令和2年度より小学校、令和3年度より中学校で新学習指導要領(教育要領)が実施されたこと、また、教員の若年化による年齢構成バランスの変化によって熟達した教員が減少していることから教職員の資質向上が求められており、令和3年度においても研修を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により派遣研修の実施できず、研修機会が減少した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	研修に全教職員が参加することが困難なため、参加者が各校において伝達研修を行い、効率的な研修につながるよう努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	教育実践論文「けやき賞」については、各校の研究内容や各教科・領域における教職員の取組を把握しつつ、各校の教職員等に本事業の趣旨を丁寧に周知することで目標よりも多くの応募があった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	計画的な研修の実施、教育実践論文「けやき賞」の取組等を実施し、さらにそれらを広く発信することで教職員の資質向上につなげている。 一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により派遣研修が実施できないことが増え、研修機会の減少につながっている。 教育課題が多様化する中であって、さらに教職員の指導力、資質の向上が求められていることから、より計画的、系統的な研修の実施と研修機会の確保、効果的な発信、波及につながるよう研修内容や方法を改善していく必要がある。		
改善策	研修については、各係横断的に担当業務に応じて研修内容の精選を行い、オンラインやオンデマンドなど様々な研修方法を工夫するとともに伝達研修の場を適切に設定・実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	研修については、各係が担当業務に応じて研修内容を充実させ、オンラインなどによる受講方法を工夫しながら実施することとする。 なお、フィールドワークなど現地に向いた研修やグループで研究を進める取組に関する補助金に要する経費など教員の資質向上に不可欠な予算を確保する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	学校運営事業				事業コード	620111						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践			施策コード	413						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校が展開する教育活動を全市統一的に実施することで、学校運営の平準化、効率化を図り、豊かな学びの機会を保障する。											
対象者	教職員及び児童(4年生)				対象者数	695		単位あたりコスト	2.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	①【理科教育推進事業】学習指導要領第4学年理科に規定されている、植物の成長と環境との関り、月や星についての理解等に関する基本的な知識を身に付けるため、全市立小学校4年生を対象に児童科学館と植物園を使用した学習を実施する。【令和3年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止】 ②【小中学校社会科見学等教職員入場料】修学旅行や社会見学等における引率教員の入場料及び拝観料を負担した。 ③【社会科副読本】社会科副読本「のびゆく福知山市(第3・第4学年用)」を編集し電子書籍化する。【隔年実施につき令和3年度は未実施】											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	使用料及び賃借料	230		引率教員入場料及び拝観料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,019	1,316	2,670	1,405	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	3,019	1,316	2,670	1,405		
予算財源内訳	① 一般財源	3,019	1,316	2,670	1,405	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	3,019	1,316			
	③ 執行額	1,290	230			
	④ 執行率	42.7%	17.5%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.20 / 0.00	0.19 / 0.00	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,600	1,520	1,520	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,890	1,750	1,520	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		プラネタリウム植物園見学実施率	%	/	実施なし / 100	実施なし / 100	/ 100	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		プラネタリウム植物園見学の参加児童数	人	687 / 700	実施なし / 694	実施なし / 695	/ 646	参加率99%
		単位あたりコスト		1.6				
		単位あたりコスト		/	7 /	/	/	学校運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	理科教育及び社会科教育課程において、身近な地域を通して教育活動を行うとともに、調査活動や具体的資料を通して必要な情報を調べまとめる技能を身につけること及び地域社会の一員としての自覚を養うことを目的とした事業である。令和2年度に編集した社会科副読本を活用し、身近で分かりやすい社会科学習に活かした。また、社会見学における引率教員の入場料や入館料の補助を行った。児童科学館と植物園を使用した学習については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。教育委員会が主体となり実施することにより学校事務や学びの標準化及び効率化を図った。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	・各施設等の減免措置を積極的に利用し、最小限のコストで実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	・市内の児童生徒が平等に学びの機会を享受できるよう、児童科学館と植物園を使用した理科学習や社会科副読本を活用した社会科学習を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、児童科学館と植物園の見学を中止した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】 地域と連携しながら体験学習等を実施することにより、地域学習の充実に寄与している。社会科副読本を活用して学ぶことで、より分かりやすく豊かな地域学習ができています。 【課題】 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により理科教育推進事業が実施できなかったため、次年度以降は実施に繋げたい。		
改善策	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、より多くの学校が実施できるよう判断を適切に行うこととする。校外活動が困難な場合は、電子書籍化した社会科副読本をはじめとし、ICTを活用した学びの工夫を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	コロナ禍における感染防止対策等を講じたうえで、より豊かな体験学習が実施できるよう校外学習を実施していきたい。その活動を保障するためにも予算を確保していきたい。 また、社会科副読本については、より分かりやすく豊かな地域学習が実施できるよう2年に1度の改訂を行いながら、引き続き学習環境を整備していきたい。ICTの活用推進に伴い、電子書籍化した副読本をより効果的に活用していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	教育研究事業					事業コード	620112				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課				所属長	八瀬 正雄				
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	教員の意欲・指導力・授業力の向上及び教育活動の充実を図ることにより、豊かな人間性を育む教育を実践する。										
対象者	教職員(幼稚園、こども園含む)				対象者数	560		単位あたりコスト	3.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	学校教育振興会、各教育研究会										
事業概要 (箇条書き)	①【学校教育振興会 全員研修会】 全教職員を対象とした研修会を実施。令和3年度は、人権教育研究部が実践発表会を、特別支援教育研究部が教育講演会を実施した。 ②【学振各研究部会活動費】 教職員の自主的な教育研究活動に要する費用の一部を負担した。 ③【府各研究会負担金及び会費】 京都府小学校教育研究会負担金・京都府中学校教育研究会負担金・全国学校図書館教育研究会負担金・京都府人権教育研究協議会の負担金及び会費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	96	学振全員研修会等講師謝礼								
	旅費	5	講師招へい旅費								
	需用費	167	学振各研究部会活動費								
	使用料及び賃借料	116	学校教育振興会全員研修会会場使用料他								
負担金補助及び交付金	299	府各研究会負担金及び会費(小学校教育研究会・中学校教育研究会・人権教育研究協議会他)									

III 予算執行状況

区分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,041		1,031		1,008		1,040			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,041		1,031		1,008		1,040			
予算財源内訳	① 一般財源	1,041		1,031		1,008		1,040			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	1,041		1,031							
	③ 執行額	444		682							
	④ 執行率	42.7%		66.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤嘱託職員)	0.20	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,600		1,520		1,520		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,044		2,202		1,520		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			人	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	学校教育振興会全員研修	人	417 / 571	実施なし / 558	260 / 560	/ 597	参加率85%
	単位あたりコスト		1.8		2.6		
			/	9 /	/	/	教育研究事業

		単位あたりコスト					
--	--	----------	--	--	--	--	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>研究活動を盛んにし、教職員の資質の向上及び教育力を高めることを目的とする学校教育振興会及び各種研究会に係る経費の一部を支援し、本市の学校教育の充実を図り、また活動に係る学校事務を効率化することができる。学校事務研究部、養護研究部などの課題別研究部や各種教科等研究部など学校単位ではできない横断的な教育研究活動も実施している。</p> <p>令和3年度は、全員研修を実施したり、各研究部において、課題別研究を行い、実践発表会や研究発表会を開催したり、活動等をまとめた学振だよりを発行した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 各種発表会等を令和元年度より一本化し、人的及び経費コストを削減している。 事前に予算執行に係る事業計画書の提出を受け、真に必要な購入等であるか審査している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員の活動実績を比較できる指標として、全員研修会の参加率を活動実績とした。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を制限したため、参加率が低くなったが、制限内での多くの教職員が参加した。研修会の内容は、学振だよりを活用して全教職員へ周知した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【自己評価】 学校教育振興会や京都府小学校教育研究会等は全教職員が加入している組織であり、様々な課題や教科毎に研究を行い、その取組や成果を共有しており、福知山市の教職員全体の資質向上に寄与している。 また、学校単位ではない横断的な組織であるため、本市のみならず府下や全国の動向を知る機会となっている。【定性的評価】</p> <p>【現状の課題】 令和3年の全員研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員の約5割で開催したが、次年度以降は通常定員での実施を行いたい。</p>		
改善策	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、より多くの教職員が参加できるよう開催に係る判断を適切に行うとともに、状況に応じてリモートによる参加や研修内容の共有のための工夫を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>教職員全体の資質向上のため、必要不可欠な事業である。 今後も学校教育振興会の活発な活動を支援していくために予算を確保したい。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	響プランF心の充実事業					事業コード	620212				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課				所属長	八瀬 正雄				
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
	計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	「響」プラン・F(学校教育内容充実推進プラン)		R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	響プランF(福知山市立学校教育内容充実プラン)に基づき、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が自らの可能性をしっかりと伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生きていく力を育てるため、芸術や文化、また、大学見学や職業体験によるキャリア教育等、様々な体験機会を充実させることで、豊かな人間性を育てていく。										
対象者	市立学校児童・生徒				対象者数	6,043		単位あたりコスト	1.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)JTB京都中央支店、(有)慶和、(有)チームワーク										
事業概要 (箇条書き)	・「本物」の芸術・文化体験・・・小学4年生対象(博物館等見学・体験活動)、中学1年生対象(劇団四季の観劇は新型コロナウイルス感染症拡大により中止) ・体験に要するスクールバス運行・・・施設見学や大学・高校見学等 ・各校における心の充実体験活動(講座等)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	報償費	784			講師謝礼						
	需用費	188			消耗品						
	役務費	28			郵送料、事務費手数料、運搬料						
	委託料	4,057			運転代行業務、芸術・文化体験活動実施業務						
使用料及び賃借料	7			施設使用料							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	17,396	18,441	22,926				
	② 補正予算	0	△ 10,030	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	7,366	18,441	22,926					
予算財源内訳	① 一般財源	0	6,526	17,791	22,217				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	840	650	709				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 154						
	② 配当予算	0	7,212						
	③ 執行額	0	5,063						
	④ 執行率	0.0%	70.2%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.46 / 0.00	0.46 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	3,680	3,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	8,743	3,680	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「KYO発見 仕事・文化体験活動」推進事業	種類	教育費府補助金	実績金額	614	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	小6全国学力状況調査回答率(自分のよいところがあると思う)	%	/	/	/	76.4 / 70	/ 100
中3全国学力状況調査回答率(将来の夢や目標を持っている)	%	/	/	/	66 / 70	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	体験活動の参加率	%	/	/	60 / 95	/ 100	100
	単位あたりコスト				84.4		
	単位あたりコスト		/	12 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>学校教育内容の充実に向けた「響」プラン・Fに基づき、小学校4年生を対象とした京都の伝統文化を学ぶ体験活動を実施した。充実した体験活動を通じて豊かな人間性を育むことは市民や社会のニーズに的確に応えるものである。</p> <p>現地に向いた体験が基本であるが、新型コロナウイルス感染拡大のため、現地での体験が実施できない学校があった。しかし、オンラインによる体験活動に変更して実施し、貴重な創作体験ができた。</p> <p>中学1年生を対象とした劇団四季ミュージカル観劇は新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3は中止とした。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>児童生徒が全校で同様の体験活動ができるよう市が実施主体となる取組と、学校が工夫をしながら地域人材や保護者の協力を得ながら実施する取組を並行して進めることで公平性の確保やコストの削減に努めた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>これまで学習してきた京都の伝統文化について、縁遠いものと感じていた児童が体験学習をすることで身近に感じ、継承を願う契機となった事例があるなど、文化芸術や伝統文化等への関心を高め、豊かな心や感性を育むことができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>「本物」の芸術・文化体験について契約事務を進めたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中学1年生の劇団四季の観劇は中止とした。</p> <p>小学4年生の「本物」の芸術・文化体験については、14校中11校で現地で体験、3校は新型コロナウイルス感染症の拡大によりリモートでの体験活動の実施となったが、貴重な体験活動となった。</p> <p>中学1年生の「本物」の芸術・文化体験については中止のため評価できないが、小学4年生の体験活動は学校現場でも評価が高く、現地でこそ得られる体験活動が児童の豊かな心や人間性を育む契機となった。</p> <p>また、その他のキャリア教育や心の充実体験に関する取組についても、日程の変更等があったもの、おむね予定どおり実施できたことから、本事業の目的を達成できたものとする。</p> <p>【定性的評価】 事務処理に時間を要するため、学校の実施希望時期に添えるよう早期の計画を進める必要がある。</p>		
改善策	<p>R3は新規事業により体験活動の開始が遅れたことから、学校からできるだけ早期の開始要望があるため、債務負担行為の設定によって年度開始前からの準備を行い、早期開始を行うこととした。</p> <p>R4は、中学1年生の「本物」の芸術・文化体験の実施により、事業の評価や効果を生徒へのアンケートを集約したり、学校現場からの報告書により効果を検証したい。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>4年度に実施した中学1年生の「本物」の芸術・文化体験(劇団四季の観劇)、小学4年生の体験活動(博物館見学と創作体験)は学校・児童生徒にも好評で、現地でこそ得られる感動体験が豊かな心や人間性を育む契機につながることから、引き続き、各種体験活動に必要な予算を要求する。</p> <p>また、これまでの取組に加え、SDGsの観点から環境教育に関する体験に必要な経費を予算化する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	いじめ根絶対策事業					事業コード	620402				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課				所属長	八瀬 正雄				
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	218	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中		
根拠法令等	いじめ防止対策推進法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	児童生徒や保護者をはじめ、社会全体で自他の命の大切さを見つめなおす機会を設定し、いじめ等の人権侵害の根絶を図る。										
対象者	市内児童生徒及び保護者・教職員				対象者数	13,000		単位あたりコスト	0.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・子どもを取り巻くいじめ問題、特にネットトラブル防止を目的とした児童生徒や保護者向けの講座を市内10校で実施した。 ・いじめ根絶月間の11月にいじめ防止講演会を開催し、保護者や教職員が見識を深めた。 ・いじめ防止対策委員会を開催したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により2回のうち1回を书面開催とした。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	60	いじめ防止対策委員報酬								
	報償費	391	講演会・講座の講師等謝礼								
	旅費	38	委員実費弁償、講師旅費								
	需用費	15	消耗品								
	役務費・使用料及び賃借料	31	郵送料、講演会看板借上料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	675	649	724	1,129				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	675	649	724	1,129					
予算財源内訳	① 一般財源	158	132	254	323				
	② 国支出金	414	0	0	0				
	③ 府支出金	103	517	470	806				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流用額	0	0						
	② 配当予算	675	649						
	③ 執行額	423	535						
	④ 執行率	62.7%	82.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.29 / 0.20	0.30 / 0.20	0.30 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,820	2,900	2,900	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,243	3,435	2,900	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自殺対策事業(いじめ根絶対策事業)	種類	教育費府補助金	実績金額	385	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		いじめ認知件数(小中計)	件	1974 / 0	1927 / 2000	1758 / 2000	/ 2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	いじめ講演会開催回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		440.7	423.0	535.0		
	巡回講演開催回数	回	7 / 11	10 / 10	10 / 10	/ 12	12
	単位あたりコスト		63.0	42.3	53.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民(保護者)、学校、市教委の連携により、市民の関心の高いネットトラブルなどをテーマとするなど、いじめ根絶に向けた取組を行うことができた。いじめについては、社会的な課題であり、根絶に向けた取組が重要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	講演会等により多くの対象者への啓発を継続しており、府補助金によりコストを削減している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	福知山市いじめ防止基本方針のもと、いじめ根絶に向けた啓発の取組みや認知したいじめへの早期対応の効果により重篤案件は生じていない。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	いじめ根絶に向けた啓発活動及び児童生徒、保護者、教職員への学習、指導等の実施により、事業目的に応じた取組ができた。また、認知したいじめについては早期に対応することにより、重篤ないじめにつながっておらず、いじめの防止への取組が継続できている。		
改善策	いじめ防止基本方針が実効性のある対応方針となるよう適切な見直しを行い、教職員間での情報共有や市民等への周知に継続して取り組む。いじめを起因とした不登校等の事案が発生した場合、速やかにいじめ防止対策委員会を開催し、委員から必要な意見等を聴取し、適切な対応につなぐこととしている。また、定期的にいじめ防止対策委員会を開催することにより、本市のいじめ防止に対する取組や方針を理解いただくこととする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	従来から実施している「いじめ防止対策委員会」をはじめ、いじめ根絶につながる講演会や講座に要する経費に加え、新たに提案型公共サービス民営化制度による提案を踏まえた自殺防止につながる「SOSを出し方に関する教育」に関する取組に要する経費を予算化する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	少年補導センター運営事業					事業コード	610106					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	昭和47年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市少年補導センター条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	次代を担う青少年が、より確かな人格形成と人間としての温かさ、思いやりのある豊かな心、創造性を培うことができる地域づくりを推進する。											
対象者	青少年、市民				対象者数	14,000		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・街頭補導活動(官公庁の閉庁日を除く毎日)、特別補導活動(暴走族対策)(3回/年)、列車補導活動(1回/年)、社会環境浄化活動(1回/年)、啓発活動(3回/年) ・相談活動 ・補導委員研修											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	72	少年補導センター運営委員報酬									
	報償費	722	少年補導委員街頭補導活動出勤謝礼									
	需用費	117	活動冊子作成、少年補導委員腕章・委員証・ベスト 他									
	役務費	40	郵送料									
	使用料及び賃借料・旅費	2	福知山市役所来庁者駐車場 定期券(バスカード)利用料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,310	1,242	1,239	1,229				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,310	1,242	1,239	1,229					
予算財源内訳	① 一般財源	1,310	1,242	1,239	1,229				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,310	1,242						
	③ 執行額	1,110	953						
	④ 執行率	84.7%	76.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 1.19	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,375	400	400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,485	1,353	400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	注意助言件数(少年補導委員)	人	13 / 0	6 / 0	21 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	少年補導活動回数(少年補導委員)	回	304 / 300	244 / 300	197 / 300	/ 0	300
	単位あたりコスト		4.1	4.5	4.8		
	年間少年補導活動延べ人数(少年補導委員)	人	767 / 900	830 / 900	661 / 850	/ 0	850
	単位あたりコスト		1.6	1.3	1.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年の各種問題を重大に受け止め、少年補導委員らとともに、青少年の健全育成のため、地域・家庭・学校と連携した活動であり、必要性は高い。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ●補導委員83名を旧市内旧三町の活動エリアに適切に分けて、原則1ヶ月1人2回、1回に3～5人の委員を配置して、常時、的確な活動を実施している。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ●街頭補導活動を年間197日述べ661人が従事。結果21人の少年に対して声かけを実施し、非行の未然防止につながった。 ●全国、近畿少年補導功労等補導委員5名が表彰を受賞した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年の声かけについては、公園等でのスケートボードの危険行為が多くみられ、件数が増加した。今後も関係機関等と協力し、対応する。 ●活動実績については、コロナ禍で活動回数、延べ人数ともに減少したが、両方とも50%は超えており、一定の評価はできる。委員の皆さんも他に仕事があり、急激な増加は望めないものの、活動計画やシフトを見直し、活動人員や回数の増加を行う。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日、市内各所において街頭補導活動を実施する。 ●学校、関係機関との情報交換を行い、連携強化を図る。 ●補導委員の意識向上のため、警察官による少年非行現状の講話研修を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後も補導委員の協力を得て、青少年の非行防止に努めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	青少年健全育成事業				事業コード	610204						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践			施策コード	413						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	226・228	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	地方青少年問題協議会法、福知山市青少年問題協議会条例、福知山地区更生保護協会活動補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。											
対象者	市の将来を担う子ども達			対象者数	14,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	青少年問題協議会の運営(年1回) 青少年健全育成大会の開催(年1回) 「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動(年1回) 啓発用懸垂幕の掲載											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	80	青少年問題協議会委員報酬									
	需用費	22	表彰用物品、賞状用紙									
	役務費	120	屋内壁面公告掲載料、筆耕料									
	負担金補助及び交付金	115	更生保護協会活動補助金、年会費等									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	288	406	389	389				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	288	406	389	389					
予算財源内訳	① 一般財源	288	406	389	389				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	288	406						
	③ 執行額	265	337						
	④ 執行率	92.0%	83.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.29 / 0.04	0.19 / 0.00	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,420	1,520	1,520	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,685	1,857	1,520	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	健全育成大会参加者数	人	120 / 0	中止 / 150	23 / 150	/ 150	150
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	健全育成大会開催	回	1 / 1	0 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		269.3		337.0		
	単位あたりコスト		/	18 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> コスト的に活動内容にあった運営となっている。 青少年健全育成活動推進者表彰等により、市民への啓発等が行えている。 新たな試みとして青少年を対象とした啓発を行うため、全小・中学生に啓発メッセージ入りオリジナルクリアファイルを配布した。また、市民や福知山駅周辺を利用する在勤・在学の方への啓発となるよう、市民交流プラザふくちやまに懸垂幕を1年間掲載した。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青少年問題協議会は書面決議にて実施、街頭啓発は中止とした。また、保護者や青少年健全育成関係者が一堂に会する青少年健全育成大会は規模を縮小し、青少年健全育成活動推進者の表彰式のみ実施した。 令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭啓発が中止となった。青少年健全育成大会の広報としても活動していたが、実施手法について見直しも必要になってきている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新型コロナウイルス感染対策のため、従来より手法を替えて、協議(書面)や啓発等を行い、事業を推進した。 青少年を取り巻く問題は、日々変化しているため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進していく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 行政や青少年健全育成関係者だけでなく、子育て中の親の学ぶ場として、青少年健全育成大会のプログラム構成(保護者を対象としたネットトラブル対策や薬物乱用の防止・根絶についての啓発)など、現代の青少年問題解決に効果的な内容への見直しが必要である。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	次代を担う青少年に係わる保護者・教職員・関係諸団体が一堂に会する青少年健全育成大会において、現代的課題等の解決や健全育成の重要性について共通理解し、学び合う場を保障するために事業を継続する。令和5年度は、より多くの市民の関心を得られるよう同大会のプログラム構成等を見直し、参加者数を増やして、大会開催効果を更に広げていきたい。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: —) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------